

# 一から学ぶ海ごみ講座 開催しました！



- 日時 令和2年7月23日（木・祝）10：00～12：00
- 会場 さぬき市曾根海岸 津田公民館北山分館
- 講師 NPO法人アーキペラゴ理事 森田 桂治 氏  
アシスタントNPO法人アーキペラゴ 谷 光承 氏

7月23日（木・祝）、さぬき市曾根海岸 津田公民館北山分館にて、一から学ぶ海ごみ講座を開催し、小学生親子6名が受講しました。本講座は、海ごみの原因・現状・抱えている問題を知り、何ができるか、親子で考えることを通して海ごみや里海への関心を深めていただくことを目的とし、開催しました。

まずは、講師の森田氏より、スライドを交えて座学が行われました。グループごとに分かれて自己紹介の後、「海ごみはどこからやってくるのか?」「誰が捨てているのか?」「海ごみが増えると誰が困るのか?」などの質問に対してみんなで意見を出し合いました。



また、発泡スチロールとポップコーンを使って、動物がプラスチックなどのごみを誤食してしまう状況を体験したり、動物の体に網が絡まって動けない状況を体験するなど、「体で感じる」講義がありました。



※動物がプラスチックなどのごみを誤食する状況を体験する様子



※動物の体に網が絡まって動けない状況を体験する様子

講座の後半は、海岸で拾ったお気に入りの海ごみやお宝で「海ごみ標本箱」を作ろうというテーマで行われました。実際に海岸に出てじっくり見渡すと、いろいろな漂着物が落ちていました。



お気に入りのものを拾った後は座学の会場に戻り、標本キットを使って製作作業に移りました。キットへの穴あけ作業で子ども達には難しい部分もありましたが、講師の手を借りながら、世界に一つだけの「海ごみ標本箱」をみんなで作りました。

講座を通して海ごみ問題について様々なことを学んだ保護者からは「非常に内容がわかりやすく、子どもに学ばせる機会ができて良かった」、「また他の場所でも開催してほしい」などの声が上がりました。

